

アデコ株式会社「はたらく」意識実態調査 はたらく白書 2004

「終身雇用社会」から、「転身設計社会」へ
有職者の約6割が転職経験者。働きたい専業主婦は約9割。

2004年1月5日
アデコ株式会社

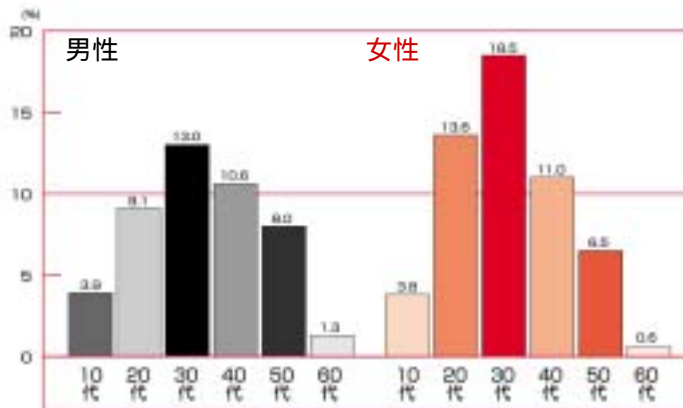
アデコ株式会社(本社:東京都港区 代表:上里正明)は、この度、日本人の「はたらく」意識の現状を様々な角度から浮き彫りにするために、5千人を超える生活者にアンケート調査を実施、アンケート結果を「はたらく白書2004」として発刊いたしました。

「はたらく白書2004」では、長引く不況による厳しい雇用環境、年金制度の見直し、人材派遣の規制緩和をはじめとする雇用形態の変化などの社会状況を背景に、日本人の「はたらく」意識が大きく変わりつつあることが分かりましたのでご報告いたします。

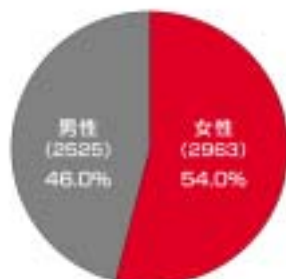
< 調査概要 >

調査地域:首都圏40Km圏、京阪神20Km圏
調査対象:『Hi-panel』に登録している16~69歳の男女
調査期間:2003年10月16日~23日
有効回答数:5488サンプル
調査方法:ネットリサーチパネル『Hi-panel』を使用したWeb調査

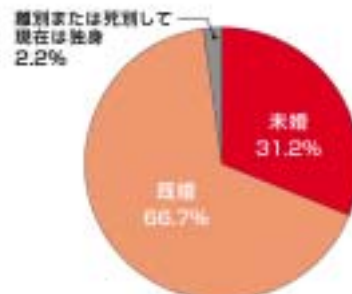
『Hi-panel』は、首都圏、関西圏合計10000サンプルのクオリティリサーチパネル。本人確認を直接行っているため、一般的ネットリサーチに比べ調査結果の信頼性が高い。



< 男女比 >



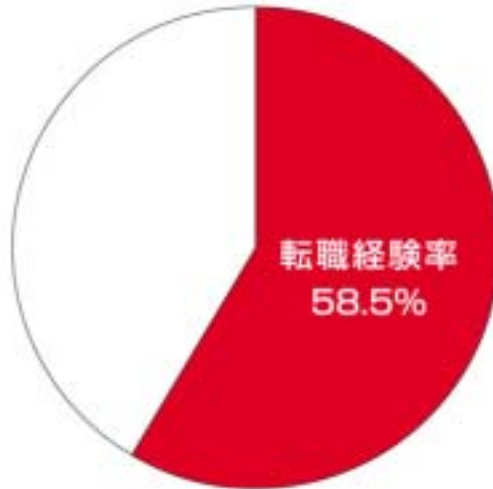
< 未既婚比 >



有職者の約6割が転職経験者

有職者に転職経験を聞いたところ、「転職をしたことがある」と答えた人は58.5%と、実に約6割近い人が転職の経験がありました。この背景には日本の労働環境と「はたらく」意識の変化がありそうです。

Q.あなたはこれまでに転職をされたことがありますか？(回答:有職者3450人)

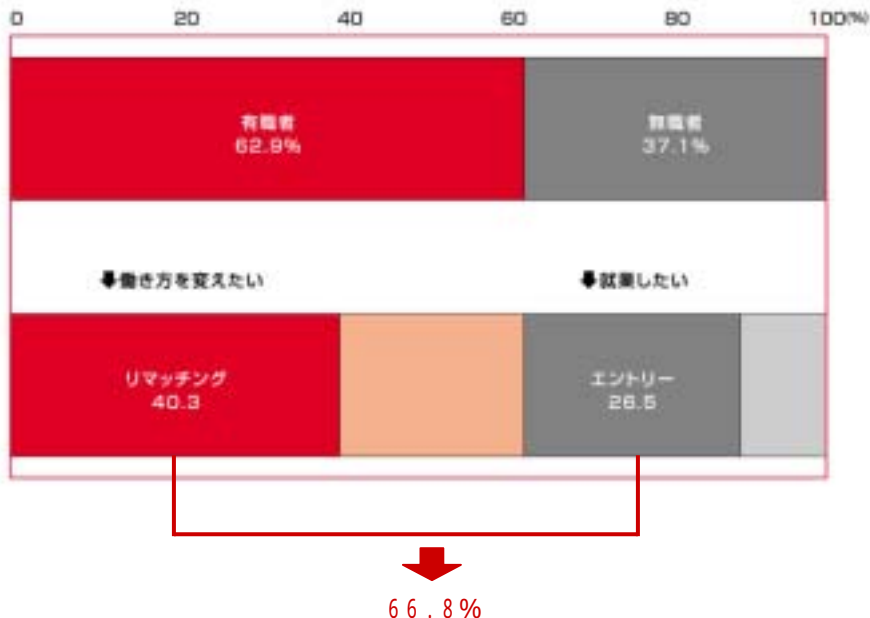


「有職者の変化願望」+「無職者の求職願望」は、約7割 東京・大阪圏の労働人口に換算すると約2000万人に相当

日本の「はたらく」を変化させている原動力は大きく2つ。1つは「有職者の中における変化願望(リマッチング)」と「無職者における強い求職願望(エントリー)」です。この2つの原動力を総合してみると、全体の66.8%の人が「はたらく」現状を変えたいという事実が浮かんできました。これは、日本の「はたらく」が、激動の時代に入るということを示唆しているのではないのでしょうか。

Q.あなたは「はたらく」の現状を変えたいと思いますか？(回答:有職者3450人)

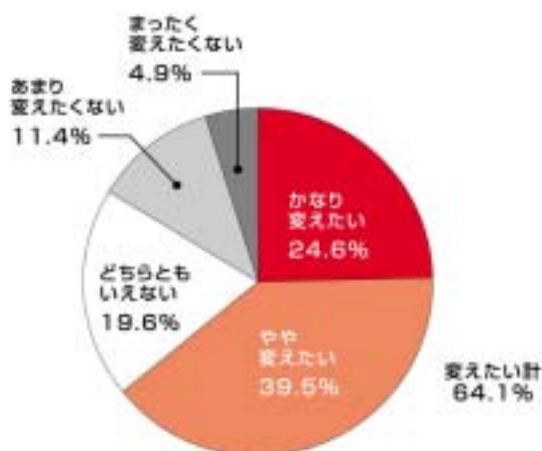
Q.あなたは今後働きたいと思いますか？(回答:無職者1975人)



有職者の6割強が現状の「はたらく」に満足していない

あなたは「はたらく」の現状を変えたいと思いますか？という質問に対し、「かなり変えたい」と答えた人は全体の24.6%、「やや変えたい」は39.5%と、64.1%の人がなんらかの変化をしたいと考えているようです。年齢別に見ても60代を除いては、職種別においてもあまり偏りなく「変えたい」と答えていることから、この願望はリストラなどの外部環境の変化によるものというより、自分自身の内なる動機によるものと考えられます。

Q. あなたは「はたらく」の現状を変えたいと思いますか？ (回答: 有職者3450人)



< 年代別割合 >

		変えたい計
有職者計 (3450)		64.1
男性	10代 (4)	10.0
	20代 (284)	69.4
	30代 (703)	70.6
	40代 (582)	69.8
	50代 (424)	59.2
60代 (38)	34.2	
女性	10代 (12)	33.3
	20代 (413)	69.0
	30代 (465)	62.8
	40代 (325)	56.6
	50代 (182)	41.1
	60代 (8)	12.5

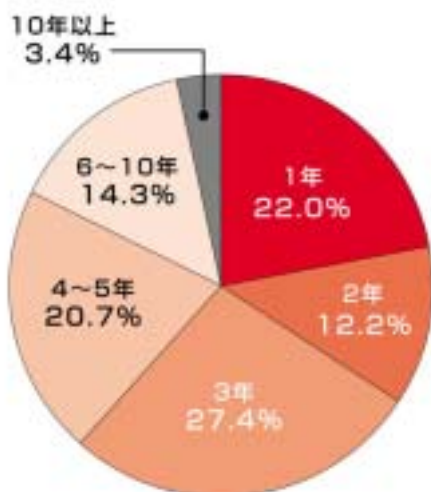
< 職種別割合 >

	変えたい計
有職者計 (3450)	64.1
事業主・役員計 (409)	60.9
●自由業・専門職 (153)	56.2
●個人経営主・農業主 (272)	60.7
●会社団体会員 (74)	67.6
勤め人計 (2844)	64.7
●正社員管理職 (501)	67.1
●正社員事務職 (510)	65.7
●正社員技術職 (407)	71.3
●正社員営業・販売職 (242)	73.6
●正社員製造・労務職 (96)	66.7
●正社員サービス業 (85)	55.3
●派遣社員 (126)	69.0
●契約社員・嘱託 (176)	67.0
●パート・アルバイト (639)	54.8
●家事手伝い (107)	65.4

はたらく習熟年数は平均で約4年半

自分がやりたいと思う一つの仕事を同じ職場で何年位継続して行えば仕事を覚えられると思いますか？という質問に対し、平均で約4年半という結果に。ここにも終身雇用を前提としたはたらく環境が変化していることが伺えます。いわば「短期繰り返し型人生設計」の予兆を示していると考えられ、たとえば派遣社員のような形態であっても良しとする意識や態度が、すでに多くの日本人の中に芽生えていることが分かります。

Q. 仕事に習熟するのに必要な年数は？ (回答: 有職者3450人)



実力・成果主義を求める一方、やりたい仕事をマイペースで見えてきた日本の「はたらく」本音

「はたらく」価値観に関する強制選択の質問を有職者にしたところ、以下のような結果となりました。いわゆる日本型の終身雇用、就社的価値観がなくなりつつあることがわかります。

Q. あなたはどっち？ (回答: 有職者3450人)

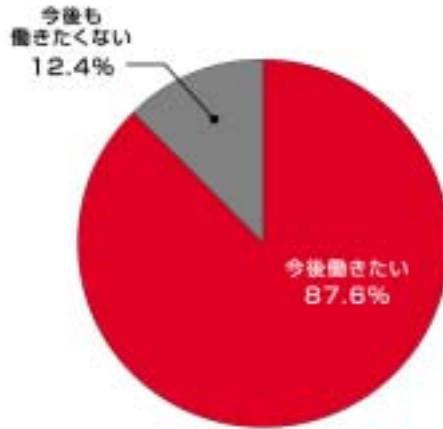
84.7 %	人と違う仕事(仕事内容)がしたい	↔	人と同じ仕事(仕事内容)がしたい	15.3 %
79.4 %	実務経験がモノをいう仕事がしたい	↔	資格がモノをいう仕事がしたい	20.6 %
84.6 %	年齢にかかわらず、実力次第でポストが保証される職場がよい	↔	年齢に応じて確実にポストが保証される職場がよい	15.4 %
39.7 %	勤めるなら大企業がよい	↔	勤めるなら中堅・中小・ベンチャー企業がよい	60.3 %
71.8 %	働く時間帯(始業終業時刻)が決まっている方がよい	↔	働く時間帯(始業終業時刻)が決まっていない方がよい	28.2 %
79.9 %	給料が安くても、やりたい仕事の方を選びたい	↔	やりたくない仕事でも給料の高い方を選びたい	20.1 %
36.5 %	働く時間に応じた給料がよい	↔	働いた成果に応じた給料がよい	63.5 %
20.6 %	海外で働きたい	↔	日本で働きたい	79.4 %
60.8 %	責任の重い仕事でこそ力を発揮できる	↔	責任の重い仕事は苦手だ	39.2 %
13.9 %	何かを犠牲にしても仕事で成功したい	↔	無理せず自分のペースで仕事をしたい	86.1 %
89.1 %	生活と仕事の区別がはっきりしている方がよい	↔	生活と仕事が一体となっている方がよい	10.9 %
62.7 %	人に指示する仕事の方が好き	↔	人に指示される仕事の方が好き	37.3 %

※数字は有職者計の値

はたらきたい専業主婦約9割

あなたは今後パートやアルバイトを含め働きたいと思われませんか？という質問に対し、87.6%の専業主婦が「はたらきたい」という意向をもってることがわかりました。

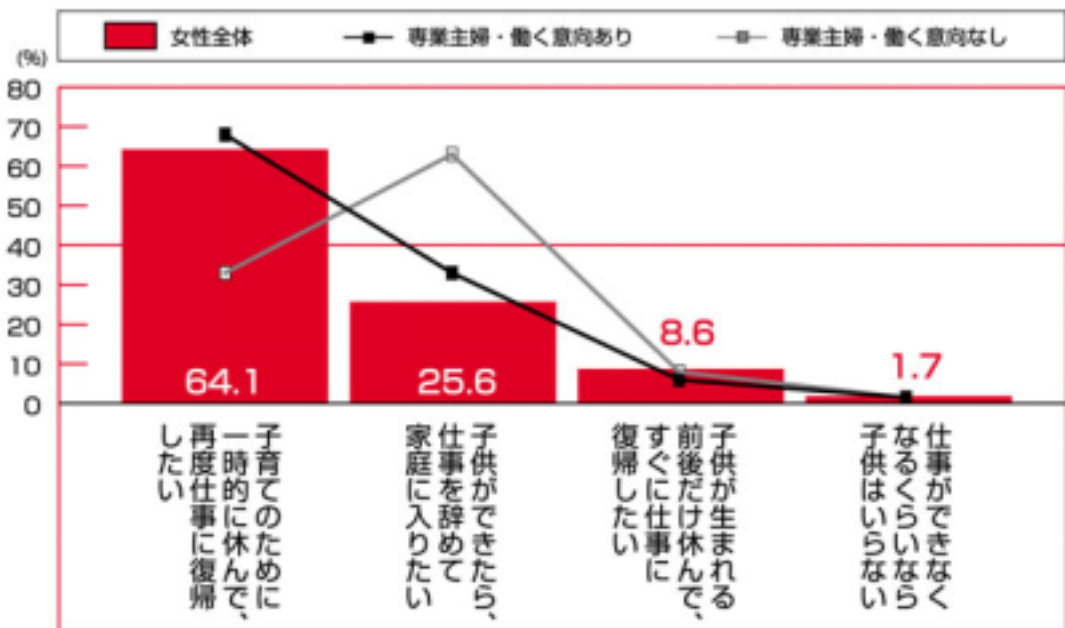
Q. あなたは今後パートやアルバイトを含め働きたいと思われませんか？(回答:専業主婦1076人)



女性の7割強が、子育てと仕事の両立を願望

子供と仕事に関する考えを聞いたところ、72.7%の女性が、子育てと仕事を両立したいとされていることがわかりました。「仕事も、結婚して子育ても、どっちもしたい」というのが女性の本音のようです。

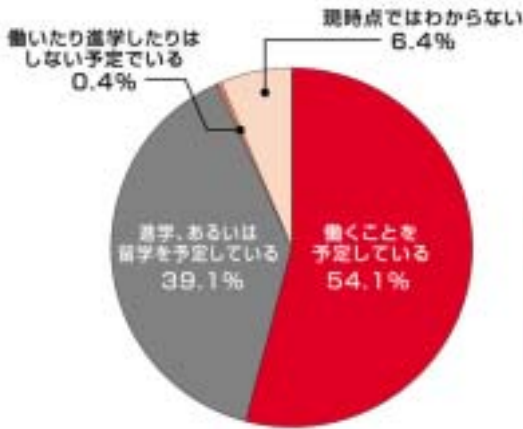
Q. 子供と仕事に関してあなたの考えに近いものをお選びください。(回答:女性2963人)



学生全体で5割強、大学生でも8割には達しない就職意向

学生に卒業後の進路を聞いたところ、「はたらく」と答えた人は54.1%、大学生でも77.2%。卒業後、即、就職という時代も終わりを告げているのかもしれない。

Q. あなたは今在籍している学校を卒業した後の進路はどうされる予定ですか？ (回答: 学生797人)



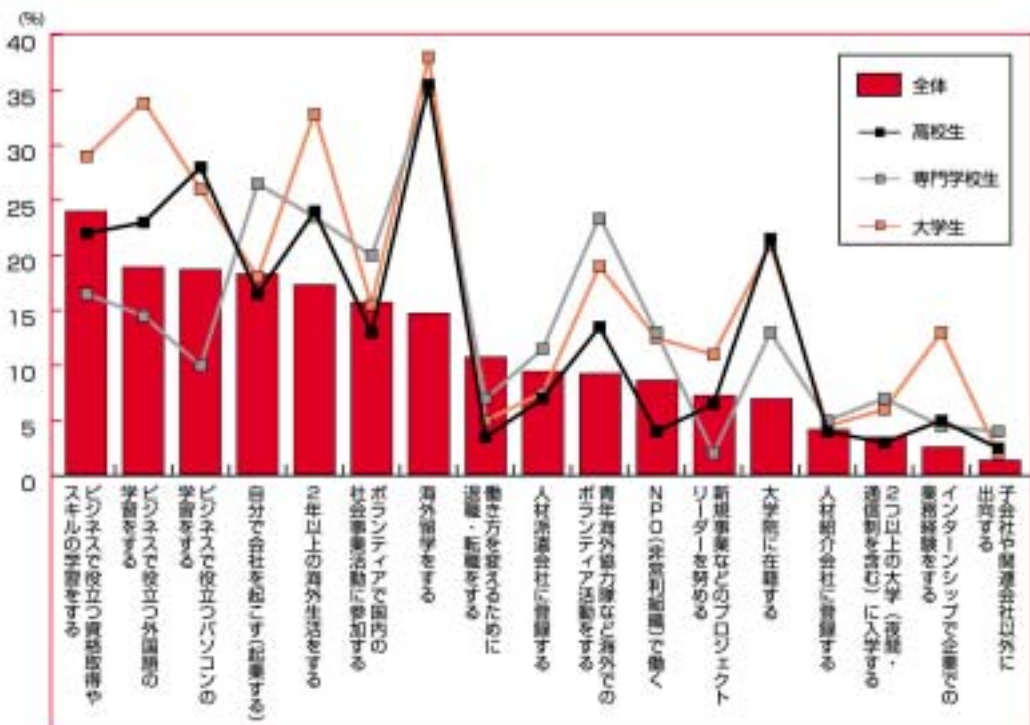
	働くことを予定している	進学あるいは留学を予定している	働いたり進学したりはしない予定でいる	現時点ではわからない
学生計 (797)	54.1	39.1	0.4	6.4
高校生 (280)	8.9	87.1	-	3.9
専門学校生 (61)	88.5	4.9	-	6.6
大学生 (456)	77.2	14.3	0.7	7.9

(単位: %)

学生は、専門性とグローバルな経験を求めている

「はたらく」に関係することで今後してみたいことを聞いたところ、全体ではビジネスに役立つ何らかの学習を挙げた人が多かったのに対して、学生は「海外留学」「海外生活」「ボランティア」「大学院」など、ビジネスより、高度で国際感覚のある経験を積むことを優先しているようです。

Q. 「はたらく」に関係する次のような経験で、あなたが今後してみたいと思うものはありますか？
あるだけお選びください。(回答: 全体5488人)

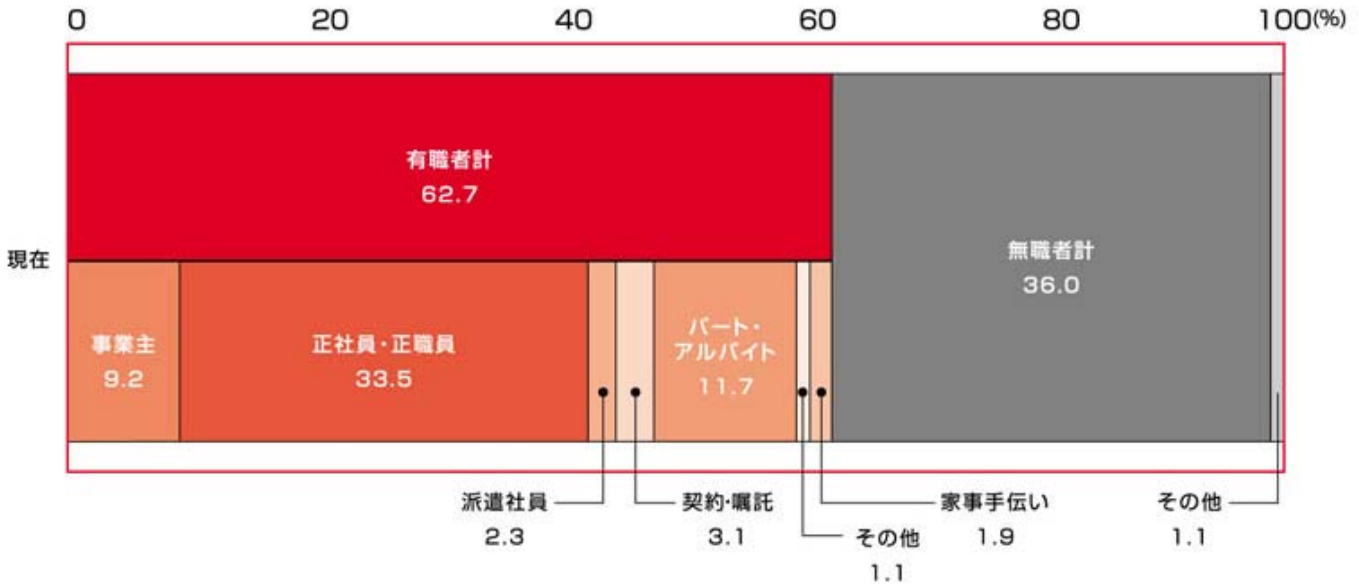


希望の雇用形態は、「事業主」「アルバイト」「正社員」

希望する今後の働き方を聞いたところ、現在の雇用形態に比べ、「事業主」が7.8%、「パート・アルバイト」が5.1%、「正社員・正職員」が4.7%と大きくアップしていることがわかりました。

一方、「派遣社員」「契約・嘱託」を希望する人は減少しており、日本人の「はたらく」意識が変わりつつあるものの、派遣や契約・嘱託社員の位置づけが社会的に明確化されていないためにこのような矛盾を引き起こしているのではないのでしょうか。

Q. あなたの現在の雇用形態は次のうちのどれですか？(回答:全体5488人)



Q. あなたの希望する今後の働き方(雇用形態・就業スタイル)はどれですか？(回答:全体5488人)





はたらく、を あたらしく。

アデコグループについて

1957年設立、本社スイス。全世界68エリアに5,800以上の支店をもつ世界最大の総合人材サービス企業。グループ全体の派遣就労スタッフは、約65万人。
日本のアデコ株式会社の派遣就労スタッフは、約4.5万人。派遣登録スタッフは、約63万人。

企業概要

社名 : アデコ株式会社
所在地 : 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル
代表取締役 : 代表取締役会長 Mark.Du Ree (マーク・デュレイ)
代表取締役社長 上里正明
資本金 : 55億6千万円
売上高 : 約1500億円(2003年度11月期)
拠点 : 全国約110拠点
従業員数 : 約2,100人
事業内容 : 人材派遣、人材紹介、紹介予定派遣、アウトソーシング、再就職支援

本リリースに関するお問合せ

アデコ株式会社 広報宣伝部 担当 高橋、近藤
〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル
TEL: 03-6439-7473 FAX: 03-6439-7593
ホームページ <http://www.adecco.co.jp>

本リリースに関して掲載される場合は、ご一報頂けると幸いです。